

産業環境委員会資料

令和6年7月1日

調査事項件名

頁

(1) 二酸化炭素排出実質ゼロに関する調査について 2

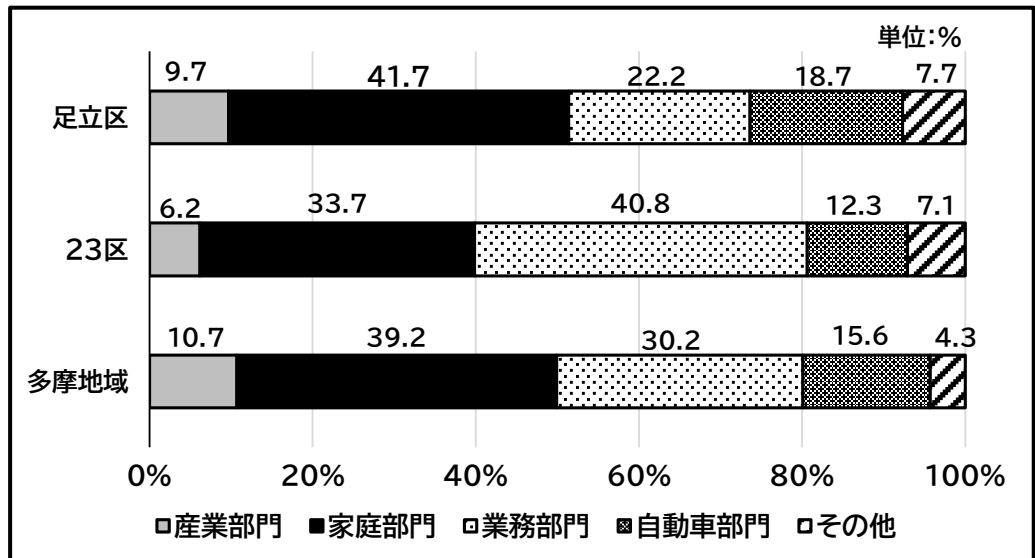
(環 境 部)

産業環境委員会資料

令和6年7月1日

件名	二酸化炭素排出実質ゼロに関する調査について																										
所管部課名	環境部環境政策課																										
内 容	1 二酸化炭素排出量の現状 オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」により算定された最新の実績である 2021 年度の二酸化炭素（以下、「CO₂」という。）排出量をまとめた。 （1）足立区と 23 区、多摩地域の CO₂ 排出量 <table><tr><td></td><td>2021 年度 排出量</td><td>前年度比</td><td>2013 年度比</td></tr><tr><td>足立区</td><td>209.8 万トン</td><td>3.3%</td><td>▲ 18.0%</td></tr><tr><td>23 区</td><td>3,965.0 万トン</td><td>1.3%</td><td>▲ 20.7%</td></tr><tr><td>多摩地域</td><td>1,348.9 万トン</td><td>1.8%</td><td>▲ 17.0%</td></tr></table> 第三次足立区環境基本計画改定版に定める CO₂ 削減目標（基準年：2013 年度）2030 年度 ▲46% 以上 （2）足立区の CO₂ 排出量の推移 単位: 万トン 2030 年度の排出量目標 138.1 万トン （3）足立区の部門別 CO₂ 排出割合（2021 年度） <table><tr><td>産業</td><td>家庭</td><td>業務</td><td>自動車</td><td>その他</td></tr><tr><td>9.7%</td><td>41.7%</td><td>22.2%</td><td>18.7%</td><td>7.7%</td></tr></table> ※ 次頁に 23 区、多摩地区との比較を掲載		2021 年度 排出量	前年度比	2013 年度比	足立区	209.8 万トン	3.3%	▲ 18.0%	23 区	3,965.0 万トン	1.3%	▲ 20.7%	多摩地域	1,348.9 万トン	1.8%	▲ 17.0%	産業	家庭	業務	自動車	その他	9.7%	41.7%	22.2%	18.7%	7.7%
		2021 年度 排出量	前年度比	2013 年度比																							
	足立区	209.8 万トン	3.3%	▲ 18.0%																							
	23 区	3,965.0 万トン	1.3%	▲ 20.7%																							
	多摩地域	1,348.9 万トン	1.8%	▲ 17.0%																							
産業	家庭	業務	自動車	その他																							
9.7%	41.7%	22.2%	18.7%	7.7%																							

23区、多摩地区との部門別排出割合の比較



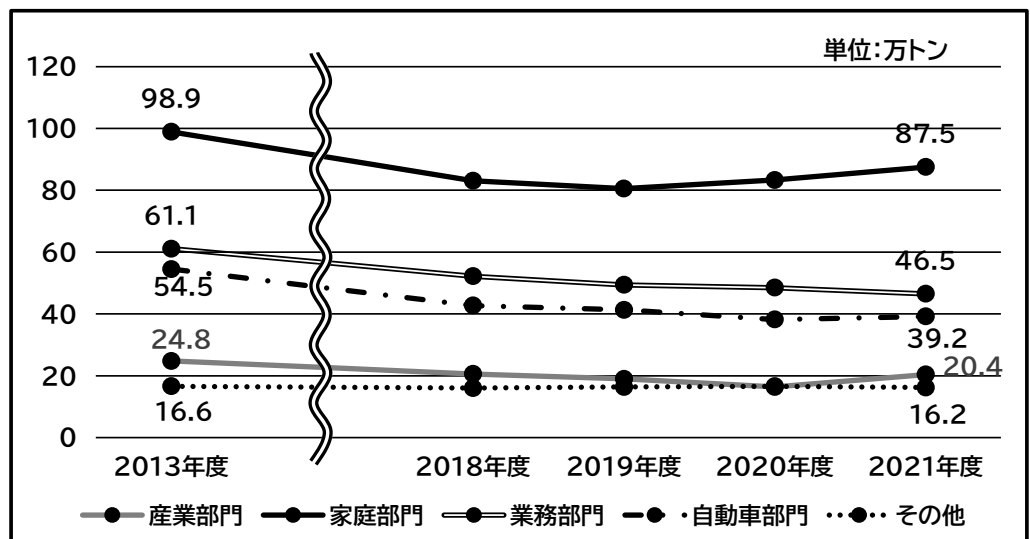
※ 端数処理の関係で合計が合わないことがある。

(4) 足立区の部門別CO₂排出量の増減率（前年度比、基準年度比）

	2021 年度排出量	23 区順位	前年度比 増減率	基準年度 (2013 年度) 比 増減率
産業部門計	20.4 万トン	5 位	24.4%	▲17.7%
家庭部門	87.5 万トン	4 位	5.0%	▲11.2%
業務部門	46.5 万トン	12 位	▲4.1%	▲23.9%
自動車部門	39.2 万トン	1 位	2.6%	▲28.1%
その他	16.2 万トン	-	▲2.4%	▲2.4%
総合計	209.8 万トン	7 位	3.3%	▲18.0%

※ 端数処理の関係で合計が合わない場合がある。23区順位は多い順。

足立区の部門別CO₂排出量の推移



(5) 近隣区との比較（2021年度）

ア 総排出量（少ない順、数字は23区順位）

（単位：万トン）

区名	排出量	区名	排出量
1 荒川区	60.9	11 練馬区	177.8
4 台東区	98.6	12 板橋区	178.2
5 墨田区	105.6	16 江戸川区	194.8
7 北区	106.9	17 足立区	209.8
9 葛飾区	128.8	21 江東区	271.8

足立区は17位 / 23区中1位 荒川区、23位 港区

イ 区民一人当たりの排出量（少ない順、数字は23区順位）

（単位：トン）

区名	排出量	区名	排出量
1 練馬区	2.36	9 足立区	3.02
5 江戸川区	2.80	10 板橋区	3.05
6 荒川区	2.80	13 墨田区	3.88
7 葛飾区	2.85	17 台東区	4.64
8 北区	3.02	18 江東区	5.18

足立区は9位 / 23区中1位 練馬区、23位 千代田区

2 区の脱炭素への取組状況について

区がCO₂削減に向け、重点を置き取組む事業について、2023年度の実績や排出削減量をまとめた。

(1) 太陽光発電システム設置費補助（累計集計）

累計は脱炭素ロードマップ初年度（2022年度）からの積み上げ

	補助件数（累計）	CO ₂ 削減量
2030 年度目標	1,460 件	2,642.6 トン
2023 年度までの 実績累計	418 件	1,098.8 トン
目標達成率	28.6 %	41.6 %

2023年度補助件数268件（前年度比118件増）

(2) 電気自動車等購入費補助（累計集計）

累計は脱炭素ロードマップ初年度（2022年度）からの積み上げ

	補助件数（累計）	CO ₂ 削減量
2030 年度目標	2,020 件	816.1 トン
2023 年度までの 実績累計	618 件	262.3 トン
目標達成率	30.6 %	32.1 %

2023年度補助件数383件（前年度比148件増）

（内訳）電気自動車216件、プラグイン・ハイブリッド167件

(3) 食品ロス対策（単年度集計）

	廃棄せずに活用 できた食品量	CO ₂ 削減量
2030 年度見込み	7.9 トン	15.8 トン
2023 年度実績	6.3 トン	12.6 トン
達成率	79.7 %	79.7 %

※ 最終的には消費できない食品が発生しないことが望ましい姿であるため、回収量を目標値ではなく、これまでの実績値を踏まえた将来の回収見込量として推計するとともに、CO₂排出削減量の根拠とする。

（2023年度の食品有効活用量内訳）

フードドライブ：1.9 トン（常設窓口5か所、他団体実施等合計）

フードシェアリングアプリ「TABETE」：4.4 トン（登録31店舗）

(4) 区施設の再エネ100%電力導入拡大（単年度集計）

	再エネ電力使用量	CO ₂ 削減量
2030 年度目標	3,530 万 kWh	15,992 トン
2023 年度実績	924.2 万 kWh	3,964.8 トン
目標達成率	26.2 %	24.8 %

2023年度再エネ100%電力使用施設

足立清掃事務所、住区センター、総合スポーツセンター、小中学校（17校）

(5) マイボトル専用給水スポット設置によるペットボトルの使用削減（単年度集計）

	給水スポット利用 による給水量	CO ₂ 削減量
2030 年度目標	11.23 万リットル	23.6 トン
2023 年度実績	8.1 万リットル	17.0 トン
目標達成率	72.1 %	72.0 %

マイボトル専用給水機設置：20施設、41台（令和6年3月31日現在）

給水量：推計81,112L（500mlボトル162,224本分）

3 2024年度開始の新たな取組

(1) プラスチック分別回収

プラスチック資源の循環利用の拡大と焼却処分によるCO₂削減のため、まずはモデル地区を設定し分別回収を開始した。

(2) 環境配慮型自動販売機設置

自動販売機の契約見直し（2024年度入れ替え分）に併せ、以下の要件により合計24台で環境配慮を実施。

- ① 自動販売機に併設するボックスで回収するペットボトルを全て水平リサイクル
- ② 環境負荷が少ない容器（再生、バイオペット、缶、紙パック）に限定し飲料を販売
- ③ 従来のペットボトル（再生、バイオペットボトル以外）の割合を全体の3割以下に制限

(3) 庁内における紙の使用、廃棄の削減

ア 庁内のペーパーレス化による紙の使用削減

紙の使用枚数や用途を各課で管理するとともに、ペーパーレス会議への見直し等で使用量の削減を図る。

イ 庁内の雑がみ分別推進

現状、リサイクルボックスを利用した分別を行っているが、2024年度は、あらためて、庁内各課に雑がみの分別を呼びかけ、リサイクルを促進する。